

◆所蔵品展

No.147 特集：自然と象徴 高島北海とアルフォンス・ミュシャを中心に
5月22日(水)～7月7日(日)

★特別展

横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち 安野光雅／角野栄子／あべ弘士

7月12日(金)～9月1日(日)

児童書専門店「こどもの広場」の主宰として下関で40年にわたり絵本の素晴らしさを伝えてきた横山眞佐子。彼女の「ゆかいな仲間たち」――安野光雅、角野栄子、あべ弘士の作品紹介を軸に、「こどもの広場」40年の歩みと下関市立美術館の絵本展の軌跡をたどります。

◆所蔵品展

No.148 特集：海峡、交差するまち・下関の作家たち I

9月19日(木)～10月20日(日) ※会期中10月1日(火)は、特別展設営のため臨時休館

★特別展

書家・金澤翔子

10月2日(水)～10月20日(日)

NHK大河ドラマ「平清盛」(2012)の題字制作や国体(2013年)開会式での揮毫など、インパクトある話題とともに活躍する書家・金澤翔子。5歳から母のもと書を始め、20歳での書家デビューを果たして以来の軌跡を大作・小品織り交ぜて紹介し魅力に迫ります。

【下関市芸術文化祭】

第13回下関市芸術文化祭・美術展

10月27日(日)～11月10日(日)

◆所蔵品展

No.149 特集：海峡、交差するまち・下関の作家たち II

11月13日(水)～11月24日(日)

★特別展

やなせたかしのきせき アンパンマンを生んだひと

11月29日(金)～2020年1月19日(日)

生誕100年を迎えたやなせたかし(1919～2013)。彼は、「アンパンマン」の生みの親として、また、童謡「手のひらを太陽に」作詞者、雑誌『詩とメルヘン』編集発行者としても知られています。戦争体験を根底に生きる喜びを表現し、日本人を勇気づけてきたやなせたかしの世界を、(公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団の協力のもと、作品の原画やタブロー、多面的な活動の資料を出品し紹介。

◆所蔵品展

No.150 特集：生誕200年 大庭学僊 郷土の名匠と「日本画」の水脈

2020年1月25日(土)～3月15日(日)

◆所蔵品展

No.151 特集：旅立ちの日に 18歳のきみに贈る、知っておきたい下関の美術

2020年3月18日(水)～ ※～2020年度に継続